



社会的地位と空間的表象の潜在的連合

○長谷川 凜人(関西学院大学大学院文学研究科; e-mail: erf00432@kwansei.ac.jp)

小川 洋和(関西学院大学文学部)

まとめ

目的: 日本語の敬語を用いて、社会的地位と空間的表象の潜在的連合の存在について検討する事

方法: 敬語の種類(謙讓語・尊敬語)の判断+矢印の向き(上下)の判断をする課題を実施

結論: 社会的地位と空間的表象の連合が認められた(尊敬語呈示は上向き矢印の判断、謙讓語呈示は下向き矢印の判断を促進)

1. 背景・目的

社会的地位や、それと似た概念である権力と空間的な上下には連合がある(Lu et al., 2014; Schubert, 2005; Zanolie et al., 2012)

Lu et al. (2014)

- 中国語の敬語を用い、社会的地位と空間的表象との連合の存在を示唆
 - ✓ 上方向の判断が、相手を立てる単語(高地位)の事前呈示により促進されていた
 - ✓ 下方向の判断が、自分(身内)を卑下する単語(低地位)の事前呈示により促進されていた

本研究の目的

- 日本語の敬語を用いた場合でも、社会的地位と空間的表象の潜在的連合が存在するか
- 単語に関する知識・見聞きする頻度がどのように影響しているか

2. 方法

参加者: 日本語を母語とする大学生29名

実験刺激: 社会的地位の操作のために55単語(尊敬語28語、謙讓語27語)を使用

自分(身内)を卑下する(謙讓語: 27語)

寡聞 非才 拙宅 弊社 愚息 愚見 細君 せがれ 粗品 乱文 愚兄 愚姉 妄評 寸志
 卑官 愚父 愚婦 拙作 老骨 微力 寸書 拙僧 愚案 小弟 小妹 拙稿 薄謝

相手を立てる(尊敬語: 28語)

御身 お嬢様 貴殿 賢兄 ご両親 貴官 貴社 奥様 ご意向 玉稿 ご見識 ご功績 畏友 御仁
 ご親父 御前 ご亭主 至尊 尊意 先生 ご母堂 お子様 貴学 王様 大兄 お言葉 おぐし お宅

単語 ……第3セッションの本試行で使用する単語
 単語 ……第3セッションのウォームアップ試行で使用する単語
 単語 ……第1・第2セッションで使用する単語

手続き

1. 課題で使用する単語に関する質問

質問項目(全て5件法)

- ①既知か否か
- ②使用頻度
- ③見聞きする頻度

愚兄(ぐけい)
意味: 自分の兄を指す謙称。

この単語をどの程度知っていたかについて、以下の中から当てはまるものを選択してください。

1 全く知らなかった ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 完全に知っていた ○

日常生活でこの単語を使う頻度について、以下の中から当てはまるものを選択してください。

1 全くない ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 よくある ○

日常生活でこの単語を見たり聞いたりする頻度について、以下の中から当てはまるものを選択してください。

1 全くない ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 よくある ○

※参加者が意味を知らない単語があった場合、次の単語判断課題の実施が出来ない為、単語の意味も表示

2. 単語・矢印判断課題(3つのセッション)

セッション1(12試行)

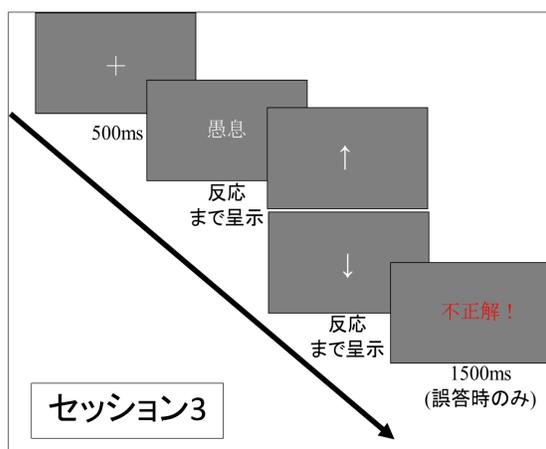
単語判断(謙讓語/尊敬語)の練習

※キー押しで各判断を行う

- 単語判断: A・Sキー
- 矢印判断: K・Lキー

セッション2(12試行)

単語判断+矢印判断(上下)の練習
※両判断の正答率が85%以上になるまで実施



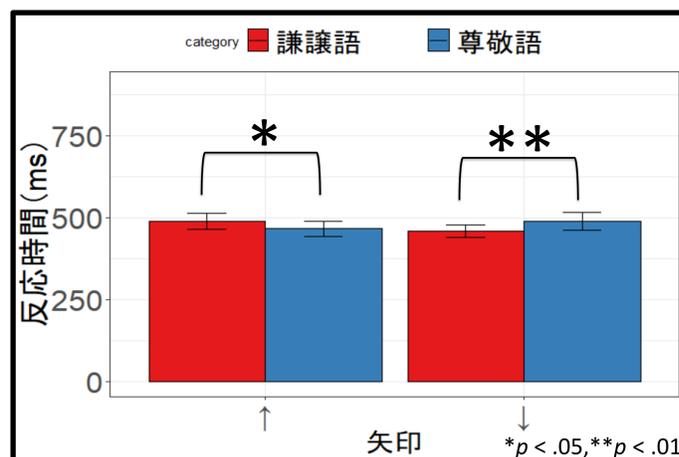
セッション3(166試行)

単語判断+矢印判断(本試行)

3. 結果

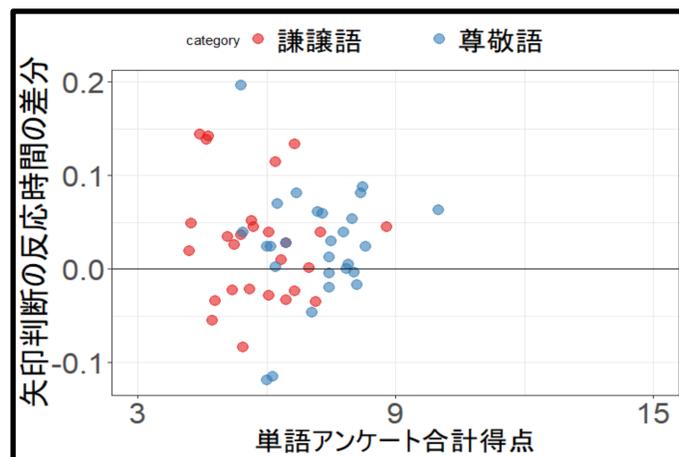
矢印判断に対する単語の種類の影響について

- 単語の種類と矢印の交互作用あり($F(1, 26) = 15.02, p = .001$, 偏 $\eta^2 = .37$)
- ✓ 上向き矢印の判断→謙讓語に比べ、**尊敬語**の事前呈示が促進
- ✓ 下向き矢印の判断→尊敬語に比べ、**謙讓語**の事前呈示が促進



社会的地位と空間的表象の連合に対する単語の知識の影響について

- 尊敬・謙讓語の両方で、単語アンケートの合計得点と上下矢印の反応時間の差分との相関はなし($r = -.01, p = .96$ $r = -.15, p = .45$)



4. 考察

目的1. について

日本語の敬語を用いた場合でも、社会的地位と空間的表象の連合が認められた

- ✓ 高地位を示す尊敬語は上方向の空間的表象と連合している
- ✓ 低地位を示す謙讓語は下方向の空間的表象と連合している

目的2. について

社会的地位と空間的表象の連合に、実験以前の単語の知識・使用頻度・見聞きする頻度は影響していなかった

本研究の課題

今回認められた連合において、実際に社会的地位は反映されているのか?

→この点を検討する実験を実施中

次の実験について

目的: 今回認められた連合において、実際に社会的地位が反映されているかを検討する事

方法: 単語+矢印判断課題の前に、自己観プライミング(個人主義/集団主義)課題を実施

予測

- 「個人を重視する」個人主義プライミングにより社会的地位の認識が低くなる為、上下矢印の判断に対して、単語の事前呈示による反応時間の差が小さくなる
- 「社会を重視する」集団主義プライミングを行う事で社会的地位の認識が高くなる為、上下矢印の判断に対して、単語の事前呈示による反応時間の差が、プライミングを行わない場合と比べて大きくなる